

宇治情報

No.80

(体験集通算 430号)

# 宝 蔵

## すばらしい霊牌供養について

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

宝蔵会の皆様には日頃から宇治別格本山の諸活動に、ご愛念、ご協力を賜り、感謝申し上げます。本年の盂蘭盆供養大祭は中止となりましたが、霊牌祭祀につきましては、平年と変わりなく、ご推進のほどよろしくお願いいたします。

盂蘭盆供養大祭は昭和三十一年以来、毎年全国各地から送られてくる霊牌をお祀りして行われてまいりました。この霊牌は盂蘭盆供養大祭が行われるまでは「霊票」という名称で彼岸などに先祖供養を行っていた地域もありま



したが、昭和三十一年二月に谷口雅春先生より「霊牌」という名前を決めていただき、そ

の形式や、記載方法についてご教示を頂き今日に至っております。

私たちがご先祖様に報恩真心の誠を捧げるために様々な方法で先祖供養が行われてきました。生長の家では万教帰一の教えから、宝蔵神社に霊牌をお祀りして真理の言葉の読誦で御霊様を供養する『霊牌供養』が広く行われてまいりました。

真理の言葉の供養の意義について、『聖使命』昭和三十二年八月一日号（現在廃版）の中で次のように示されています。

「・・・例えば、あなたの手に墨がついたとします。その時手が汚れたから手を洗おうとあなたは考えます。そして手を洗うときれいになります（中略）手についた墨を洗い落とすには石鹸水をつけて擦るとか何とか、他動的な衝撃を与えなければならぬのと同じように、自然に凋落し切らないで残っている『罪』や怠けている内にまた（次頁に続く）



新しくついた『罪』などは他動的に何らかの方法によって祓い浄めることが必要となるのであります。罪は墨ではありませんから、石鹼水で洗っても落ちるものではありません。それは意識の中に蓄積されている心的な存在ですから『罪』を剥落させるには精神的な方法によるほかはないのであります。その一つの方法が生きている人の場合には、人型を媒介とする祓式であり、靈界に往っている靈魂の業を浄化するには、盂蘭盆会とか、その忌年命日とかに、靈牌（位牌）を媒介として、それに『光明念波』または『真理の言葉』

随想

## 宝蔵会の皆様へ

管理部主任 小野 大作

宝蔵会の神の子の皆様、合掌ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛生活が長く続いています。宇治別格本山では盂蘭盆供養大祭が二年連続で中止になり、

（経文等の読誦）の波動を送ることが（各宗派によって多少形式は異なるが）現在実行されている浄化の方法なのであります。（中略）靈牌に書く戒名などは本人は靈界にいますので署名することは出来ませんが、子孫が代わりに戒名又は俗名などを書きますと、子孫の靈波は本人の靈波と全く同調する波長の部分があるので、充分媒体となってその靈に感応するのであります。」

このように記されています。コロナ禍の現在、御先祖の御靈様の浄化向上を祈念して、たくさんの方の靈牌を記載いたします。

練成会も長く中断されています。

なぜこのような世界になったのか？ 生長の家では「環境は心の影」「心が世界をつくる」と申します。我々がこの状況を心でつくったということになります。「こんな世界は望んでいない！」と、皆様は思うでしょう。しかし、それは全体の五%の現在意識です。もっとも強大な九十五%の潜在意識で望んだのでこのような現象が起きているのです。これまでの人類文明は資源を消費す



るだけの「奪う文明」でした。我々の潜在意識は、このままこれを続け

てはいけなさと知っています。そして、現在の文明の流れを止めなければならぬように、自分で自分にブレーキをかけている。いわば自浄作用であります。

人類がこれまでの生き方を喫緊に変化させねばならない現象が頻発しています。このような時こそ、基本に帰って信仰のベースとなる「人間神の子の自覚」を深めるべきだと考えます。潜在意識の奥底まで自覚するには、やはり神観が重要になります。

『新版詳説神観 谷口雅春先生著』十七頁に「神を頭脳で知っただけでは神が、わがもの」とはならないのである。全身心をもって神の实在を体感体得しなければならぬ。それをなすのが神観である。神観を怠らず行ぜ

## 講話体験の感想

N. A (30代)〈女性〉

よ。」と、あります。生長の家独特の座禪的瞑想法である神観は我々の信仰の基本中の基本であり、全ての活動の基礎となるものです。大きな建物を建てるためには基礎がしっかりしていかなくてはなりません。我々は国際平和

信仰運動による世界平和という巨大な建物を建てている最中です。そのためには基礎となる神観を「怠らざらず」ことが必要であります。私は過去に八年間家に引きこもっていたのですが、毎日実修しているうちに結婚、就

職など自然と計らわずに整って、気が付いたら問題は全て解決していました。皆様の幸福のためにも神観を強くおすすめします。

午前の講話は私の観る世界観を変えてくれるご講話でした。自分を変えな

くては、変えなくてはと心を握り焦っていました。それを緩め、大きく観ていいんだなあーと思いました。「個としてではなく全体的で観る」、「肉体で見

ました。それが今、神の子として生きて生かされているんだ、と気持ちの入れ方や幅が広がりました。

自分の出発点を神の子でしかないと思いき、今感じること、喜びを表現し、今与えられていることを感謝の言葉で思いっきり味わって、心の向きを変えてスタートしようと思いました。

ているだけ、運命は現れているだけ」という言葉が強く印象に残りました。そして、現れているだけで、変えることができる！物の見方、考え方、暗い心を生長の家の光明の生活法を取り入れて変えていきたいです。

るのではなく神の子として観る」。毎日忘れずに自覚していききたい言葉でした。また、私はあらゆる全ての生命をこんなに無条件に味わっていいのだ。神様もよろこんで、私もよろこぶ。自分

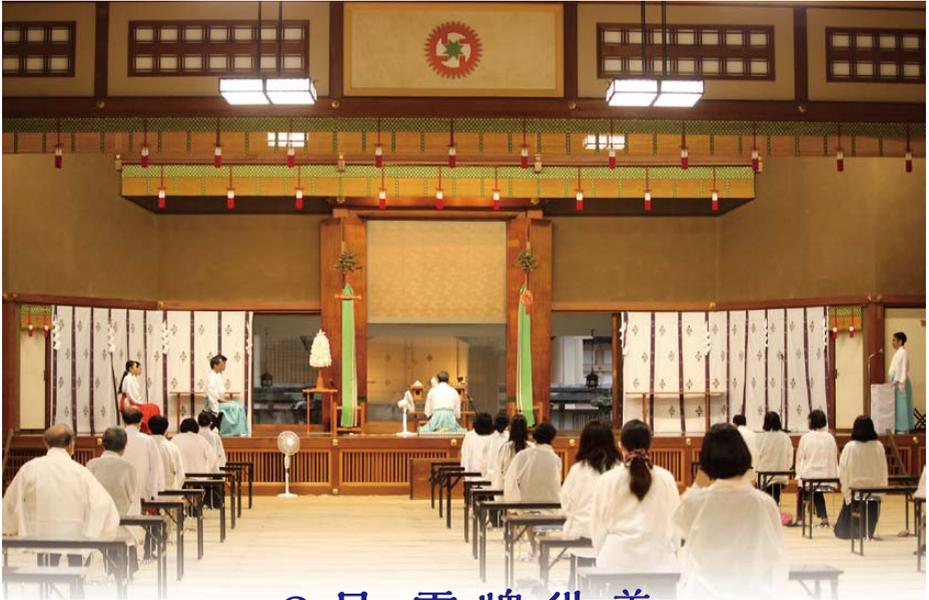
午後には「人間は神の子」という生長の家の根本を深くご講話してください、幸福になりたい」と肉体として人生の目的を捉えている自分でなく、神の子としての自覚で「幸福なんだ」という想いや生活法を変えていく大切さがよくわかりました。

また、実相を信じていることができない、信じる心になるには？というお話では、実践↓実証↓実感という方法で体験し、それを感じ、信じていることが自信となり、何があっても解決できる力となると教わりました。何かが起こった時にそれをどう受け止めるかが勝負で分かれ目。良い方に受け止めていくことが大事だということがわかりました。

にないと思っ比べて比較していたことも自分の内にあつて、皆が表してくれている。これも悦んでいいんだな、と思

「環境は映っているだけ、身体も映っ

(6頁に続く)



## 8 月 霊 牌 供 養

《 8 月 17 日 ・ 18 日 》

盂蘭盆供養大祭は中止となりましたが、当本山の本部講師・講師補が中心となって大祭時と同様に、送霊祭「みたまぬきの儀」「霊牌奉送の儀」「浄火の儀」が執り行われます。また、招霊祭に相当する霊牌合祀祭にて、本山員が招霊祭員となって全ての霊牌を霊殿に祭祀致します。

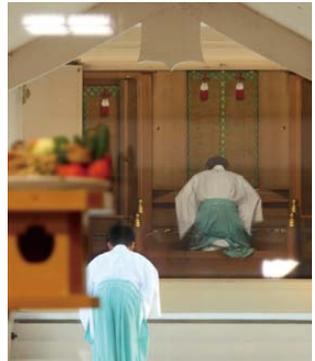


17日

《霊牌奉送の儀》

◀マスク着用で  
霊牌の運び出し

《みたまぬきの儀》



▲1年間以上霊殿に奉安した  
霊牌のみたまぬきを行います。

18日

《浄火の儀》

◀一年間祭祀された  
た霊牌を焼納



▲ 浄火 点火



霊牌合祀祭



新たな霊牌を霊殿に奉安します▶



S. Y (70代)〈女性〉

何カ月振りかの宇治の講話が聴くことができ、嬉しいです。インターネットでは聴かせていただいていたのですが、宇治で聴くことができ有難いです。宇治に参拝できないことの辛さから、今一層宇治の有難さを感じ涙が出ました。自分の考え方が良くなって、昨年十一月に圧迫骨折になり、二カ月の入院生活はとても心が辛かったです。やっとコロナのワクチン接種が終わり、今日来ることができました。

講師の方々のお話を聴き、神の子と信じて生活して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

R. M (60代)〈女性〉

本当に久しぶりの宇治の講話に参加できたことに感謝です。コロナ禍になってから、二カ月続けてネットフォーラムに参加させていただき、有難かったです。



「神は善也、善一元」のお話では、改めて自分を振り返ることができました。今迄「善と悪」とをはつきりと分けたいと自分の計りで善は善、悪いことは悪いものとして扱っていました。以前教区の講師から、「貴女の物の見方や捉え方には愛がないね!」と言われたことがあり、私はそのことが分かりませんでした。今日の講話を聴き、繋かりました。

講師の、「良きコトバをまず発してみ、言ってみる、それから行動にながっていく」という言葉には勇気を頂きました。そして「現象に顕れる善」と「善一元〓神」、「実相と現象との区別をつける」というところにも「なるほど」と思い、神の善を表現しているかと思えました。どうしても今、目の前

にある現象に引掛かり負けてしまつて、自己否定することが多くなりました。自分で勝手に勝手をつけているのですが、「人生はコトバのレストラン」で、意識して感謝と明るいコトバで、善き方向へ自分自身の人生を注文していこうと思えました。そして神想観も引き続きして、しっかりと神様とのパイプをつないで、自分を明るく表現していこうと思っています。

講話の中で、「宗教的な有難さ」とあり、そこで神想観は業の流転を超越していくのだと教えていただきました。今から思えば本当に心の底から幸せだったと思えたことがなかったと考えていましたが、このコロナ禍を過ごすうちに一つ一つ幸せを探してみようと思っていたところで、今回の講話の参加ができ、その講話の中で「神想観は業の流転を超越していくもの!」、そして「意識を常に感謝の方向へむけていく」ことを教えていただきました。今まで外から来ていたと思っていたものが、実は自身がコトバで引き寄せていたのだと深く気が付くことができました。そしてそれらが全て自分自身の魂を磨くものだと感じ、改めて気付きました。

今日に至るまで、不仲な主人もこの

七月に手術を受けまして、これでお互いの間にあった色々なものが消えていくのかなと、今回参加して思うことができました。岡田浩二講師の「何よりも相手の実相を信じる、愛する。神の愛はどこどこまでも無限の愛なのだ」

## 宇治別格本山の 歴史 — 〈3〉



## 宇治別格本山 造営 のための献劳練成会

宇治練成で献劳が主体となったの

という言葉を聴き、主人の実相を信じて観ることを今の課題として、実践していこうと思いました。私自身、「やっぱりこれかな?」と思いつつ参加しましたが、主人を拝むこと、実相を観ること、愛を行ずることの「心の課題」

は、谷口雅春先生のお言葉によって、練成員の奉仕によって山を崩すようになったからである。

当時練成会といえは悩める人が主であった。そのため病人とか老人とか婦人とか、とても山崩しのような重労働は出来ないと考えられていた。私自身ペンより重いものは持ったことがない。生長の家のみ教えのおかげで健康にはなったものの重労働は最も苦手であった。その私に献劳の練成が課せられたのである。

初めは6時間参加するだけでくたびれた。しかし一度全力を出して山に對した時、不思議な力がこんこんと湧いてきた。そして献劳が楽しみになった。周りの皆は私の貧弱な身体をみて、「よくあれだけの力が出てくるもの!」と、驚嘆していた。冬は雪の中でも裸でつるはし

とアドバイスも頂き、実践していこうと決めました。少しまだ出来るか不安ですが、神の子無能力ですね。主人の手術をきっかけに講話に参加できました。感謝しています。

をふるっていた。夏は炎暑の下汗を流してつるはしを振るった。「有難うございます」は全山にこだましていた。

整地した後に何が出来るか知らなかったが、山が崩され、谷は見える見るとちに埋められて行くのは、見えていて楽しかった。八年間のうちに、あれだけの山を崩して、けが人が出なかったことも不思議である。

(楠本 加美野 宇治別格本山前総務)

谷口雅春先生は『献劳の功德とその原理』と題されて、次のようにお説きくださっている。

『生命の實相』や真理の書を読んでみる。そして人間は神の子であって、無限の自由があり、無限の力があるのだということが兎も角、頭脳でわかったような気がするのである。それなのに

## 燃えよ 献 労

山下 駿 詞

かっど火照る大地を 両足に踏みしめ  
がっしりとスクラムを組めば 真夏の陽射しよりも熱い  
兄弟たちの血汐が たちまちひと繋ぎになって  
献労へと燃え上がる

大太鼓の前には小さい摩利支天のような若者が  
唇を噛んで ばちを振り上げ合図を待つ  
「用意 そーれっ」声とともに聖旗がなびくと 太鼓はとどろき  
歌声はたちまち力強く スクラムをゆすり  
われらは 喉も裂けよと 力一杯 使命行進曲を合唱する

あばら  
肋の奥から はらわたの底から  
声を擦り絞ると 「ようし今日もやるぞ」と  
無我献身の喜びが 全身にたぎり立つ

“生命きたえていざ起たん たましい浄め いざ行かん”  
おおこの絶好の 神性鍛えの道場に よくぞ来たれるかな

湧き上がる感動と喜びをこめて 吾らは 大地も割れよと  
使命行進曲を合唱する

どうして人生が明るくならず、生き甲斐が感じられないかというような人たちが時々あるのである。『生命の実相』や真理の本を読むことは自分にそれを受け取ることであり、自分にそれを入れることである。

それが現象化してくるのである。受け取ること、入れることだけでは、真理も本当に生きてはこないのである。『与えよさらば与えられん』と教えられても、『与えよさらば与えられん』と実践をしないときには、その醍醐味は味わえない。

いことになるのである。

しかし実際『この与えてみる実践』は一人では中々やりにくいのである。一人では極まりが悪いという条件を乗り越えて、大勢で献労奉仕をする。しかもお礼や報酬をもらわないで、むしろ自分が食費や奉納金を収めて勤労を奉仕的に与える実践をする時、本当に『勤労を純粋に与える』喜びが湧いてくるのである。

そして実際に沢山の奇跡的な喜びの体験が続出したのである。」

岩手教区で地方講師会長もなさっていた詩人の山下駿詞さんは病態をおして、死ぬ気で参加された献労練成会の時の感動を詩に表しておられる。

宇治の献労練成会によって、生長の家の理解は一段と深まり、光明化運動の第一線に立つて進むとういう決意はいよいよ高まった。練成会から帰ってすぐ青年会を結成し、青年会活動を始めるきっかけになったのである。(山下駿詞氏著『恩寵』より)

(『魂のふるさと宇治』日本教文社刊より)

## 宇治探訪

## 宇治神社

宇治別格本山の宇治川を隔てた向こう岸に宇治神社があります。この地方の産土神社であります。この辺りはかつて応神天皇の離宮（桐原日桁宮）があった場所でもあります。同神社の本殿は国の重要文化財となっており、三間社流れ造り椋皮葺きの社殿で、鎌倉時代初期の建物であります。

ご祭神は菟道稚郎子命で第十五代の応神天皇の皇太子であられ、大変聡明なお方でありました。当時わが国の文物伝来は朝鮮半島を経てきていました。特に応神朝では儒学がさかんになり、天皇は次の天子である、皇太子菟道稚郎子命の教育係として、百濟から壬仁という学者を招き、皇子教育に当たらせました。

皇太子は王仁について学問に精出されるうち、大きな疑問の壁が自分の前に立ちふさがるのに気づかれた。それは、(弟の身として、兄を超えて天子の位につくのは・・・)というものであ

りました。皇太子には異母兄弟の兄君大鷦鷯尊がおられました。儒教を学ぶうちに、長兄が家督を継ぐ事が本来の姿であるとの考えを持つようになったのであります。そして西暦三百年に応神天皇が崩御されましたあとに、皇太子は自己の信念通り「兄君こそご即位あそばされるべきです」そう主張されてご即位にならない。一方大鷦鷯尊は「父君がいったんおさだめになつたことである。それを破つては子としての道にもとる」と自説をゆずれなかつた。こういうことで、天子のみくらしいは三年の間空位となりました。あるとき漁師が鮮魚を献上しようと、宇治に持参したが、皇太子は「自分は天皇ではない、難波の兄君に届けるように」とお受け取りにならない。そこで漁師は大急ぎで難波に行くが同じくお受け取りにならないため鮮魚が腐ってしまったとのことでした。そこで思い余つた皇太子は、このままではいけ



ないと思われ、自ら自害なされたのであります。驚かれた兄君は宇治に駆けつけられ、皇太子のご遺骸にすがつてお嘆きになったのであります。そして、ご遺骸を宇治の山の上に葬られ、難波にお帰りになり、第十六代仁徳天皇としてご即位なされたのであります。

宇治という地名は、菟道稚郎子命様が、この地に住まいを定められて、河内の国より向かわれる途中、道に迷われ難渋している時に、一羽の兎が現れ後からついて来られる命様を振り返り振り返り先導申し上げたという古伝により「みかえり兎」と言われ、この後、道徳に叶つた正しい人生の道を歩むよ

う教え諭しているもので、神様のお使いとされております。菟道という字を「うぢ」と読み、内なる場所の意味を持ち、後に「宇治 うじ」という字に



〈神癒祈願のお礼状〉

## 實相は完全円満

J. I (女性)

先日、神癒祈願を申込みましたSさんのことでお礼と報告をさせていただきます。

彼は三十七歳の若さで全身がんとなり、治療のすべがなく余命宣告を受けました。本人の意向で家族と暮らして療養しておられます。申込みをしてすぐに神癒人型を送っていただきありがとございます。到着したその日は、本人の希望で家族と一泊旅行に出る日でした。

なったとも言われています。

「親子で読める 天皇日本史」 杉田幸三著  
 (日本教文社) より一部抜粋

このところ食事もまともにとれず、二十キロもやせてしまい、お医者様も心配して、「すぐに帰れる所」という条件で旅行を承諾してくれたそうです。旅先では不思議なことに、出された食事を全部食べる事が出来、次の日に立寄った牧場ではソフトクリームまで食べ、驚きと喜びに満ちた旅行になったという事です。また、訪問看護にいられている看護師さんも、ご自身で部屋をとって同行してくださり、帰ると家でお医者様が待ちかまえていて、すぐに診察してくださったそうです。まわりの皆様のご愛念につつまれて順調に過ぐす事が出来たという事です。

私も不思議な体験をしました。神癒祈願を申込んだ翌日、頭の中で浮かんでくる言葉がありました。「彼は決して不幸ではないのである。裕福ではないけれど、彼は多くの人に愛されて幸せなのである」。

若くして重い病気になり、ご家族の辛い気持ちを思うと「なぜこんな事に可哀そうに」と思ってしまうですが、「現象の肉体が全てではない。多くの人に愛されている彼は、実相において完全円満な神の子である」と教えていただきました。神様の深い愛に感謝の気持ちで一杯です。ありがとございます。

## 集中治療室から無事に退院

K. T (女性)

お礼が遅くなり申し訳ございません。昨年十一月、家族が呼吸困難になり救急車を呼びました。診察の結果、「心不全で今夜が峠です、もしもの時は連絡します」と言われました。私はすぐに支部長さんに電話をしたら、すぐに宇治と飛田給に祈願を出しなさいと言われて夜中にファックスを送らせていただきました。その後、私も落ち着き、ずつと聖經読誦をしていましたら、いつの間にか時間が過ぎており、病院からの

連絡はありませんでした。二日後、コロナ禍で会うことができず、受付で連絡を取ってくださいました。元気で話をしていると聞き、驚きました。本当にありがとうございます。神癒人型が速達で送られて来て、大変嬉しく真心を感じ、祈願部の方には感謝でいっぱいです。二週間後には、元気で退院することができました。ありがとうございます。

### 感染症が治りました

K. M (女性)

孫が元気で生まれましたが、血液検査の結果、感染症の疑いがあり入院することにしました。その後、集中治療室に入り、すぐに治療をしていただきました。二〜三週間の入院でしたが、祈願もしていただき、お陰様で早く治りました。退院後も順調に成長し、娘も祈願していただいたお陰で、産後も順調に回復させていただきました。本当にありがとうございます。

### 治療の必要なし

C. N (女性)

夫が前立腺がんになり、先日六ヶ月検診を受けました。前立腺腫瘍マーカー値が下がりはじめ、全摘出の左腎臓尿管の再発の心配なし。肺や膀胱も



### 〈写経のお礼状〉

### 奉納写経の功德

H. M (女性)

娘に「お母さん、こんなに味の濃い料理をしていると血圧に良くない」と言われて初めて味がわからなくなっていることに気付きました。匂いもわからなくなっていました。いつ頃からな

きれいで大丈夫、治療の必要はありませんと、医師からお墨付きを頂きました。本人はもちろんのこと、老々介護になる私自身、これ以上の喜びと安心はございません。日々、真心からのご愛念のお祈りを捧げてくださいます皆様方には、衷心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

のかわかりませんが、これが当り前と思っていました。全項目の写経を宇治に奉納した途端、食事が美味しいと思えるようになりました。匂いも味もわかることがこんなに嬉しいことなんだと感謝しています。生長の家は嫁ぎ先の母から知らされて以来、神想観、先祖供養の聖経読誦を続けています。神様、ご先祖様のお蔭と心から感謝しております。ありがとうございます。

※全項目は二十枚写経用紙が入っており、奉納金五千円以上で、『観世音菩薩讚歌』等を謹書できます。余った用紙に別の項目を書かれます。奉納金が新たに発生することはありません。



## 大祭の霊牌について

- ◎従来通り霊牌はお送りください。
- ◎本山員が招霊を行います。
- ◎締切は **8月13日必着** でお願います。  
(荷物表紙には「**霊牌在中**」とお書きください。)

## ◆ オンラインによる対面個人指導 (無料) を行います ◆

※ご希望日の **3日前まで** にはお申し込みください。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補  
岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補  
(担当講師のご希望はお受けできません)

条件：zoom かメッセージをご自分で繋がられる方

お申込み方法：メール [rensei@uji-sni.jp](mailto:rensei@uji-sni.jp) または Facebook 練成部ページへ  
メッセージでお名前 (ふりがな)・電話番号・ご希望日時を  
ご送信ください。  
担当講師等、こちらより返信いたします。

練成会は  
令和3年9月  
まで中止です



## 8・9月練成会案内

一般練成会  
8月10日 (中止) ～ 16日 (月)  
働く喜びを生きる練成会  
8月27日 (中止) ～ 29日 (日)  
短期練成会  
9月3日 (中止) ～ 5日 (日)

再開につきましては  
ホームページ又は  
Facebook・お電話で  
お問い合わせください



## 8月宇治別格本山で行われる行事

- 11日 (水) 10:00～ 自然災害物故者慰霊塔月次祭 **※無参列**
- 13日 (金) 10:00～ 宝蔵神社月次祭 (ライブ配信) **※無参列**  
全国産児無縁霊供養塔供養月次祭 **※無参列**
- 19日 (木) 10:00～ 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭 **※無参列**



宗教法人生長の家宇治別格本山  
京都府宇治市宇治塔の川 32  
Tel.0774-21-2151  
[www.uji-sni.jp/](http://www.uji-sni.jp/)

ISO 14001 認証取得

